

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：（ A組： 矢野

使用教科書：（ 「家庭総合 明日の未来を築く」 開隆堂【家総704】 ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築にむけて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。	家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 「さまざまな高齢期」 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫する。	・指導事項 ・高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援の方法を知る。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴について理解できているか。 【思考・判断・表現】 課題について考えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	B 単元 「高齢者の生活と福祉」 【知識及び技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域および社会の果たす役割の重要性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫する。	・指導事項 ・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支えあって生きることの意義について理解を深める。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解しているか。 【思考・判断・表現】 高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支えあって生きることの意義について考えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	C 単元 「子どもの世界」 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てることの意義や保育の重要性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもとの適切な関わり方を工夫する。	・指導事項 ・乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深める。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解を深めているか。 【思考・判断・表現】 子どもを生み育てることの意義や保育の重要性について考えるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	9
	D 単元 「育つ子ども」 【知識及び技能】 ・子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもとの適切な関わり方を工夫する。	・指導事項 ・子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深める。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深めているか。 【思考・判断・表現】 ・子どもの健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	定期考査						

[illegible]

2 学 期	E単元 「日本の食生活の今」 【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食生活を取り巻く課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴や課題に着目し、食生活について理解する。	指導事項 ・食と人との関わりについて理解を深める。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ・食生活を取り巻く課題について理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・日本と世界の食文化について、理解を深めているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	F単元 「食の科学と健康」 【知識及び技能】 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の調理上の性質について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己と家族の食生活計画ができる。	指導事項 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解する。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ・栄養の特徴、食品の栄養的特質について理解できているか。 【思考・判断・表現】 ・食品の調理上の性質について考えているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	8
	G単元 「おいしさの科学」 【知識及び技能】 ・食品衛生について科学的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康や環境に配慮した事故と家族の食事を工夫する。	指導事項 ・食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解する。 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ・食品衛生について科学的に理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質を理解できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートに取り組む態度	○	○	○	9
	H単元 「さあ 料理を始めよう」 【知識及び技能】 ・目的に応じた調理に必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・健康や環境に配慮した事故と家族の食事を工夫する。	指導事項 ・目的に応じた調理に必要な技能を身につける。 ・教材 教科書	【知識・技能】 ・目的に応じた調理に必要な技能を身につけているか。 【思考・判断・表現】 ・主体的に食生活を営むことができているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 調理実習に取り組む態度 エプロン、三角巾など	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I単元 「人間と住まい」 【知識及び技能】 ・日本と世界の住文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の住文化の継承、創造について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族の生活やライフスタイルに応じた住居の計画について理解する。	指導事項 ・日本と世界の住文化について。 ・教材 教科書	【知識及び技能】 ・日本と世界の住文化について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の住文化の継承、創造について考察できているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族の生活やライフスタイルに応じた住居の計画について理解できているか。	○	○	○	9
	J単元 「健康で快適、安全な住まい」 【知識及び技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫できる。	指導事項 ・快適で安全な住空間を計画する。	【知識及び技能】 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・住生活の計画・管理に必要な技能を身につけているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の住文化の継承・創造について考察し、工夫できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

